

葉の花

平成27年度学校教育目標
重点目標

「心ゆたかに たくましく」
「めあてに向かって 挑戦する子」

伊豆の国市立長岡北小学校
Tel 055-948-1062
学校だより 27/7/7 21号



7月朝会

7月1日(水)、朝会で校長先生から話がありました。今回は、校舎、事務室前に巣を作っているツバメの巣について話をしてくださいました。

その内容を紹介します。

皆さん、事務室の前の通路にツバメが巣を作っているのを知っていますね。(写真を見せる) 雛が何羽いるか知っていますか。

そうですね。5羽います。相当大きくなってきたので、皆さんにもよく見えると思います。

この写真を撮っている時に、先生はふと、わたしはツバメのことを何にも知らないということ気づいたんです。

わたしが知っていることは、「ツバメは3月の終わり頃やってきて10月の始め頃南の方へ帰って行く」くらい。毎年見ているツバメなのに皆さんも意外とツバメについて知らないんじゃないのかな。

そこで先生は調べてみました。

○冬の間、ツバメはどこにいるのか。

それはフィリピン、マレーシア、インドネシア等東南アジアと呼ばれる熱帯地方にいます。ツバメのえさは知っていますね。はえや蚊などの昆虫を食べます。一年中暑い地方なら昆虫がたくさんいるんでしょうね。

○ツバメって何歳まで生きられるの。

調べました。平均寿命は1.5年だそうです。そう言うと2年も生きられないと思うかもしれませんが、そうではありません。ツバメは、生まれてから半年の間にカラスや鳶などの天敵にやられて、87%くらいが死んでしまうのだそうです。北小にいる5羽の雛も半年後1羽が生き残ればいい方なんです。運良く生き延び、病気もしなければ15歳くらいまでは生きられるようです。



○何で人間の住む家などに巣を作るのか。

野生の小鳥の天敵は、カラス・ネコ・ヘビです。鳥は木に巣を作りますがカラスは鳥ですから巣が見つかればやられてしまいます。ヘビやネコは木に登ることができます。そこで、ツバメはわざわざ





ぎ人間の住んでいるところに巣を作り、ネコやヘビなどが近寄れないようにしているのです。また、天井近くに巣をすることで、カラスも攻撃できないのだそうです。よく考えていますね。

メジロなどの鳥は、雛の糞を親鳥が咥え、巣から離れた場所に捨てます。これは、近くに糞があるとヘビやネコに鳥の巣がありますよとばれてしまうからです。でも、ツバメは人間の住んでいるところ、さらに壁に巣を築くので、襲われる危険性が少なく、安心して糞を巣の外にしています。

あと何日かで、雛たちが巣立つと思いますが、困難に立ち向かうツバメたちを温かい気持ちで見守ってくださいね。

※7月3日(金)の朝、巣を見ましたら、4匹が巣立っていました。

救急法講習会

7月1日(水)、家庭教育学級の2回目を実施されました。今回は、夏休みのプール当番の保護者を対象に救急法の講習会を実施しました。

内容は、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動などについて、田方中消防署の職員が来てくださり、講習を行ってくれました。

プール監視については次のようなお話がありました、

- ①危険なところや危険なものはないか。
(プールだけでなく、その他の周囲も)
プールサイドに危険な祭物がないか
プールの状況を把握(水深・水温や取入口・排水溝の位置)

- ②子供たちの体調や行動に注意する。



- ・子供たちの顔色を確認
→顔色が悪い子はプールに入れず、休憩させる。
- ・危険な行為は注意する。(飛び込み・プールサイドを走る)
プールに長く入っていると皮膚がふやけて弱くなる。
(転んで思いがけないけがが起こる。)

- ③監視のポイント

- ・基本はプール対角線で2カ所以上の監視。(死角を作らない)
- ・水泳者に対する監視と、周囲の状況変化の監視。(天候状況など)



- ・服装はいつでもプールに入れる格好。
(もしもの時に備える)
- ・万が一事故が起こったときのために役割分担をしておく。
(救助、119番、AED準備等)